

七、海關接收に關する中華民國臨時政府聲明

十二、十二、十六

去る十四日民衆の總意に基き樹立せられたる本政府は、徒らに容共抗日を標榜し國民生活の安定を外にして國際的政治紛糾惹起に狂奔したる舊政府に代はり、庶民の眞の福祉、厚生を達成すへき一大使命の下に誕生せるものなり

惟ふに庶民の眞の福祉、厚生を圖らんかためには、百政固より一として忽諾に附すへからすと雖も、就中關稅行政はひとり財政上重要なるのみならず、また通商産業上極めて樞要機微なる關係を有するを以て、政府は先づ津、秦兩海關稅務司に對し速やかに本政府の指揮監督に服すべく勸告したるところ、津秦兩海關稅務司を首め其の廳下關員は時勢を明察し欣然我が方の勸告を容れ、ここに平穩裡に兩海關の接收を了したり

海關收入を擔保とする債務については本政府は公正妥當なる方法により分別處理せんとす

右聲明す

八、帝國政府の一月十六日聲明に關聯せる臨時政府聲明

一三、一、二七

國民黨の國を誤り人民に被害を及ぼせるは一黨一身の利得に専念し、國家人民の利益を顧慮せざるに起因す、彼等の罪惡は事實に照して既に明白にして今更吾人の評論を俟たずとも萬人の齊しく認むる所たり唯其顯著にして最も重要なる點を指摘せば九、一八事變以來六ヶ月間其經過を回顧するに先づ無抵抗主義を唱へ次いで一面抵抗、一面交渉といふ不得要領の政策に終始し更に廿四年の冬に至り中樞の改組に際して愈々抵抗準備の必要を高唱するに至れり、又西安事件に際會するや共產黨に強引されてソ聯容共の政策を容認せり、或は抵抗準備に名を藉り民間に多年蓄積せる現金財寶を搜索して其全部を外國へ輸出せり、又昨夏蘆溝橋事件起るや當時はその實衷心より戰爭を欲せざるもその部下に脅迫され遂に今日の大事を惹起せり、その經過を見るに彼等の所謂準備なるものは僅かに上海に於ける一

0104

61

0103

事に就きて見るに百餘萬人の兵民の生命を犠牲に供せしのみならず、
血肉を以て抵抗すと豪語せるもその事實内容は五六月間に數千億の
資材を徒に消費せし以外に何物もなくその準備とは呆して何物なり
しや、上海より敗退して焦土政策を提唱し居るも徒に自ら焦土とし
て退却するのみにて抵抗して焦土とするに非ず、其の何れにあるや
甚た不可解の次第なり、我が國人は何の責めありて斯かる禍ひに遭
遇するや甚た遺憾に堪えざる所なり、彼等黨政府は既に吾人の政府
たる資格を喪失せり、彼等黨人は専ら民衆を脅かして其權利を保持
せんと國人を欺瞞して排日を煽動し種々の毒計を策す、若し恬然と
して尙從來の欺瞞計書を行はば内部の崩壊を招來するは必然の歸結
にしてこの情勢よりすれば如何なる便宜を興ふるも亦藉すに時日を
以てするもその反省は到底望むべからず、今に至り彼等と絶縁する
は又止むを得ざる所なり、友邦日本も亦東洋平和の素志に基きその
反省を促せとも彼等は遂に反省する所とならず自ら墓穴を掘る茲に

於て我等同人は十二月十四日黨人に代りて民を救はんと念願し臨時
政府を組織せしに友邦日本は去る十六日聲明を發して遂に黨國政府
を對手とせず、新興政府と國交を調整し更生新中國の建設に協力し
以て東洋平和に寄與せんとするの決意を明かにせり、これ我等同人
の最も欣快に堪えざる所にして吾人又友邦の協力により戦禍を蒙れ
る民を救ひ共産赤化を絶對に排除し更生國家の建設に努力し相共に
携へて東洋平和確立に邁進せんことを期す。

九 中國聯合準備銀行開業に關する臨時政府聲明

一三、三、一〇

中國聯合準備銀行は愈々十日を以て開業し唯一の國幣たる紙幣を發行し舊通貨は一定期間内に之を回収する事とせり、之か爲め政府は舊通貨整理辦法を講じたり、惟ふに事變以來金融機關は能く幾多の異常なる困難に處し戮力之を克服し財界安定の爲めに善處し來れるは敬服に堪へざる所なり。

然れども事變による中國經濟の打撃は眞に深刻なるもあるに鑑み、政府は深く省察し、先づ總へての經濟活動の基礎たるべき通貨金融の制度を確立するため中國聯合準備銀行をして健全なる通貨を供給せしめ複雑なる通貨状態を解消して速かに之を統一するの必要を認めたり、又金融の統制系統の錯雜せる現状は徒らに不安又は困難を生ずる恐れあり放置する事を許さず豫め之か秩序を調整し如何なる事變にも即應し以て民衆の生活を保全し得るの方策を確立せんと

65

0108

す、從來流通したる各紙幣は夫々一定期間を限り流通を認むるもその價值は經濟生活に急激なる變動を及ぼさざる意圖に基き國幣に對し當分の間等價とし、また國幣の對外價值を現在の環境に鑑み日本通貨と等價ならしむるを以て適當なりと認む、これ國幣安定の方策にして正に經濟復興の基礎なり、而して政府はこれを堅持する方針なり、斯くして政府は中國聯合準備銀行の健全なる發達及び國幣の普及により中國經濟の更生伸張の礎地を確立せんとするものなりと雖も抑々金融通貨の事たる民間の協力に俟つべきもの甚だ多きに鑑み民衆各金融機關共によく政府の方針に則りこれに協力すべきなり、苟くも政府の方針に反し財界の安寧秩序を擾亂するものあらば法により嚴重に處断すべし、更に又國民に告げ慰むべき一事あり、これ中國聯合準備銀行は日本銀行團と一徹圖のクレジットを商定しその契約成立せる事なり、これ即ち友邦朝野の援助より成るものにして銀行の基礎は更に鞏固となれり、これ本政府の最も感謝するところなり

66

0107

一〇 黨軍の黄河堤防決潰に關する臨時政府聲明

一三、六、一八

國民黨か小兒病的亡國政策をされるに對し本政府が既に數回に亘り嚴重に之を警告せるは吾人の共に知るところにして今日に至り多言を俟たざるころなりとす、たゞ最も恕すへからざるは實にその焦土政策なり、即ち江南の沃野は悉く瓦礫となり江北の文物悉く廢墟に化す、さきに黨軍は濟南を遁走せる時河堤十數ヶ所を決潰し、今や隴海線に於て又決堤し數十萬の生靈と財物とを犠牲となす、釜を破り舟を沈むるの計を爲すに非るなし、然れども強弱は大いに異り時代又遙に異る、今や長江は大勢を拒む能はず百姓は徒らに死するを悲しむ、近世の洪楊の亂は金の刃を以て人を殺せしに過きざりしも人民の元氣は凋落し八十年に亘るも尙未だ復せざりき、今日の如き假に直ちに干戈を止むるも豈よく百年にして恢復し得んや、黨軍は血氣の勇を待み一朝の忿りを過よし毫も永久の事を顧みず其の子

67

0109

孫の爲圖るの心なし、斯くの如き淺薄の徒輩何そよく政治を談し得へけんや、之の一なり、黨軍は南京を開戦四ヶ月ならずして失ひ湖北の名城又三ヶ月を出すして崩壊せり、斯くの如きは姑く論外とするも隴海の戦役に於て既に包圍の局勢成れるも台兒莊の如き彈丸黒子の地を以て尙大いに戦勝を虚報し、爆竹の聲未だ熄まざるに皇軍は既に徐州に入れり、蘭封、歸德、開封は之皆黨軍の堅防を誇り永く持久すへしと爲せるに拘らす半月ならずして破碎せられ、天下の滑稽事之より大なるはなし、斯くの如く愚なる何の面目あつて更に軍政を談するや之の二なり、吾人は國民黨人に問はんことを欲す、吾人は果して黄色人種なりや否やを、何すれを倒行逆施以て其の極みに達するや、蔣氏は平素種族の念にまた一見識ありと聞く、鶴蚌の争はよく熟知するところならん、然るに何を一度挫折して手段を選ばざる、聞く者をして悉く痛心せしむ、之本政府の深く惜しむところなりとす、東隣日本は切身の痛を義を以て扶け言を發し再城の

68

0110

類を驅除しあり彼の國には賢達之士尠ならず、黨軍の中に興して英雄あらは宜しく立ちまことに鋒を收め自ら敗走を承認し餘事を古老に委すへし、斯くして時代の潮流に順應して徐ろに收拾を計らは尙東方の骨氣存するものと言ふへし、若し尙非望し覬覦貢禍の志を發揮せんも大勢の赴くところ今や全く望みなし斯くの如きは過去の事實に徴すれば明々白々なり、本政府は成立以來半歳を経過し金融は日に固く人心は日に安定せり、黨軍の中には憂國賢豪尠からず又北方の諸將は今尙師旅を統率す、何すれそ之を率ゐて歸來し又よく駕に命じて北來せざる吾人と心を同しうするに於ては理に於ては決して推むどころに非ざるなり

茲に特に宣言す

中華民國二十七年六月十八日

0111

一、中國、交通兩銀行紙幣切下に関する臨時政府聲明

一三〇八、七

政府は發に中國聯合準備銀行を設立しその發行にかかる紙幣を以つて唯一の國幣とし舊通貨に對しても一般民衆に對する影響を慮り一定期間を限り之が等價交換を認め以つて北支に於ける健全なる通貨及び金融の安定に努力せり、その後中國聯合準備銀行發行紙幣は頼みにその信用を高め國內流通日に増加し以つて益々その機能を發揮しつつ今日に至れり、此の間蔣政權に聯絡する舊通貨は蔣政權の相繼ぐ失敗によりその價值日々に下落し、中南支方面の民衆は塗炭の苦しみに陥れるかその影響北支に及ぶに至るを以て政府は豫定の通り六月十日限り中央、中國、交通銀行などの發行にかかる南方券の北支に於ける流通を斷乎禁止し爾今北支に於ける流通を認めざることをせり、然るにその後舊通貨の下落尙その跡を斷たず然も最近に於ける蔣政權の信用全く地に墜ち更にその外貨賣は極端に制限せら

0112

70

れ、ために舊通貨の價值は愈々下落し蔣政權の前途没落の外なきことを示しあり、茲に於て政府は今尙蔣政權と一脈相通するところある中國、交通兩銀行發行の北方券の價值を依然國幣と等價に置くことの不合理なるを認めこれか價值を切り下ぐることを決意せり、然れどもその切下げ率を實價值に基き定むることは北支大衆に及ぼす影響大なるに鑑みこれか切下げを一割と定めたり、而して今後の情勢如何によりては更にこれに變更を加ふることもあるへし、若し故意にこれを違奉せざるものあらは經濟攪亂行爲に關する取締り辦法に照らし嚴罰に處し假藉することなかるへし

0113

7271

一三、中華民國維新政府の成立宣言

一三、三、二八

近年百政腐敗し群小朝に滿ち外交を誣んせすして只豪語を誇る、民を導かすして戦を作さしめ軍備無くして空言を恃む、管に民命を犠牲となし國家を賭物と爲すに止まらず、遂に神州を塗炭に陥れ京邑を廢墟と化し萬寇に煙無く四民業を失ふに至る、國に當る者師を喪ふこと益々多くして敗報愈々頻なり、失地益々多くして擄取愈々甚し然も未だ一事を擧げて以て過を省み、一言出して以て己を罪せるものあるを聞かす、焦土政策は自殺に等しく容共政策は寇を招くに同じ、是れ中國有史以來唯一の惡政府にしてその居心行事は蓋し桀紂も爲すを肯んせず闖獻も及はざる所なり、現に四川に一時の安逸を求め湖北、湖南に潛伏するも雖も只徒らに呼號するを以て自ら縶むのみ既に統御の力を失へり、吾人等義勇措く能はず急に起ちて亡を救ひ舊を除きて新を布き民と共に更始せんことを、爰に三月廿八日

0114

72

南京首都に中華民國新政府を重建す其唯一の使命は即ち領土主權を
戰前狀態に復現し、隣邦と樽俎折衝して敦睦に歸し、勉めて國人を
して戰禍の苦を免れしめ、同種をして兄弟相争ふ事なからしめ、吾
國舊有の道德に基き東亞の平和を確立し、更に歐米列國と聯絡を保
持するにあり、維新政府の成立は江蘇、浙江等の省の事實に根據し
その性質は暫定的のものにして臨時政府とは始めより對立の心なし、
將來中央所管の事項と不可分のものは臨時政府により商約辦理す、
且つ津浦隴海兩路の交通恢復せる後は臨時政府と合併すへし、蓋し
同人等は常に國內に對立的兩政府あるを願はざるものなり、秩序を
恢復し流民を慰撫し農村を安定し商業を復興せしむことは目下最緊
の急務なり、隨つて常に群力を集合し逐一進行し以て老父母子弟を
して各常業に安んせしめ漸次に生計を復せしむへし、人民のために
兵災を減少せしむるは即ち國家のために元氣を培養する所以なり、
これを醫療に譬ふれば先づ治療を先とし病既に除かるるを待ちて後

徐に養生を圖るへし敢て治理を空談し富強を豪語し以て困苦九死一
生の民衆を欺かんとするものに非ざるなり、荆棘地に遍く烽火天に
滿つ、祖國を灰燼と化し窮民を傷殘せしめたる後においては功を表
はすこと易からず、又着手最も難きこと明かなり、唯各知能を盡し、
我使命を全うし初志を貫徹すへきことを天民と共に誓ふものなり茲
に敢て民衆に告ぐ。

一三、維新政府外交部當局談

一三、三、二八

本政府は各國の正當なる權益に就いては國際法の原則及び國際上の慣例によつて之を尊重する、但し本政府成立後所謂前國民政府及び各省政府が各國と條約契約を締結することある場合本政府は之等一切を認めず並に之によつて生ずる義務は本政府は之か責任を負はず

一四、郵傳局所有財産讓渡問題に關する維新政府の宣言

一三、六、九

最近國民政府は招商局の財産を秘密裡に米國銀行團代表ウイリアム・ハント商會に讓渡せんとして居る趣であるか、果して斯くの如き讓渡契約がありとせば本委員會は之を承認せざる事に決定した。よつて此旨宣言す

去歲國民政府は國を計るに忠ならず、同文同種の隣人と輕々しく戦端を開き南北十數省をして悉く兵火の巷と化せしめ人民の死亡流轉の惨は中國有史以來見るところにして、我か維新政府は會つて臨時政府と共に成立宣言中に其の罪狀を列擧したるも更にその惡事を悔ひ改め又迷夢より覺めず聯共政策により其の勢力を厚くせんことを圖り倒行逆施し、國民民生共に救はれざる所なり、國民黨の暗愚に加ふるに共產黨の兇惡を以てし蔣宋兩家の政治工具を構成し搾取を以て能事となし、獻上を以て殊勳とし、金融を攪亂して資産を封殖し吾民衆の負擔を顧みるに遑あらず、近日遂に徐州を守らず安應次いで陥落し武漢湘粵至る所危險に瀕す、而も蔣介石は禍心を包藏するを以て故意に河堤を決潰して民衆を慘殺し數十萬人の人命を總て黄河の濁流に遺棄す其の内心に計るへからざるものあり、本政

府は成立の初め即ち秩序を恢復し難民を復歸せしめ農村を安定せしめ商業を復興せしむるを唯一の本務とし最大の決心を以て難後の同胞をして安居樂業の實現を期せしむべく努力邁進す、我か父老師弟は事の是非を明かに辨へ、利害を熟慮し或は志士を糾合して政權を革新し或は妻は子と共に一刻も早く危地を離れ新政府領土の下に在りて同心同徳を以つて蔣政權をして再びその惡政を肆ままにせしめさらんことを要望す、かくして初めて勵事は安定し家族を安全ならしむることを得、一意盲從して自ら憂ひを貽す事なからん様慎重考慮を望む、我民衆に告げ一般に聞知せしむ

蒙古はもと元朝の後裔にして偉大なる歴史を保有し、明代に至りて朔漠に退去せりと雖も尙且つ對等の地位を確保せり、清朝の初めに及ひては更に分藩兄弟の國となると雖も其の固有の土地、人民、主權は毫も失はるる所なし、而して民國成立するや五族協和を標榜呼稱せるに、計らさりき二十餘年來、我邦を以て外府となし之に省縣を設け土地を瓜分し主權を侵蝕して剩すところなく、蒙古の生計日に窘窮を致し盟旗の凋落日に甚たし、既に兒孫望むところなきに又何ぞ名目上のみ平等を稱へんや

群情激憤し水火もなほ辭せず、即ち蹶起して高度自治を要求し以て命脈を永らへんとし呼號奔走すること幾度、漸く百靈廟の地を護るを得ここに於て初めて形式と權利とを獲得せり、然るに軍閥の暴戻、縣吏の徵發日に甚しく、或は大軍を以て境を壓し或は又經濟を封し我等を自滅に迫る、廿餘年の克誠擁護も其の窮極するところ只これ

879

際迄に終りたるのみ、之を以て推移せんか蒙古又何を以てか生存し得ん、且つ中國は革命以來軍閥割據し内亂相繼ぎ人民塗炭に苦しみ百業凋弊を來す、何そよく我等を顧るの邊あらん、依つて昨春西烏珠穆沁に於て大會を開き軍政府設置を決議し並に蒙古軍を訓練し、外防共に努め、内治安を圖り漸くその規模を備ふるに至る、然るに日支和を破るに至るや事を稱へて我を攻むるに及び已むなくここに防衛の計を樹て長城以北の故土を收復せり、これ實に天の我に復蘇の良機を與へたるものといふべく吾人の奮然興起して勇往邁進以て更生を畫圖せし所以なり、即ち各盟旗主縣長官及軍民代表を召集し綏遠城に蒙古大會を舉行して大義を求め、大會決議を経て太祖成吉思汗の保持せる諸民族抱擁一致合作の大精神に則り即日蒙古聯盟自治政府を建設、蒙古固有の疆土を以て領域となす、斯くて友邦と親睦を圖り其の堅持する東洋平和確立の大理想實現に協力すべし、政府主席に張端旺楚克(雲王)副主席に德穆楚克(德王)を推舉し即日

蒙古聯盟自治政府の成立を宣言す、凡そ我全體官兵及び將士は舉つて一致擁護すべく願くは我民族に理解忠情を有する國家民族の補助支持により相共に人類平和に貢獻するを得は當に蒙古の榮華たるに止まらず實に全世界の光輝たらん

成吉思汗紀元七百三十二年十月二十八日

0123

一七 蒙疆聯合委員會設立宣言

一三、一一、二二

暴戾なる南京政府竝に軍閥の羈絆を脱し、敢然起つて東亞永遠の平和確立の大旗を掲げ相次いで設立を見たる我々察南自治政府、晋北自治政府、蒙古聯盟自治政府は、相互の善隣關係を促進し各政府共同の目的たる防共、民族協和、竝に民生向上の實現に向つて邁進する爲、茲に相計りて本日为期し蒙疆聯合委員會を設立し以て相互に利害休戚を同ふし借に相關聯する重要事項に關し緊密なる協議統制を加へ以て各自政府の協力を依り蒙疆方面七百萬人の人心安定を圖り本地方一帯をして明朗一點の曇りなき樂土たらしめんことを期す

成吉思汗紀元七百三十二年十一月二十二日

蒙疆聯合委員會

0124

81

本日茲に蒙疆聯合委員會の設立を見たるは我か蒙疆七百萬同胞の誠
に慶賀に堪えざるところなり、そもそも人類は相倚り相結ひて共存
共榮、以て社會の福祉を増進せざる可らず、然るに亞細亞の現状を
見よ、亞細亞民族は數千年の昔に於て既に文化絢爛然も精神文明に
於て世界に冠たるものありしに、最近西歐文明の侵蝕するところと
なり思想の動搖を招來せしために其の光明暗然たるものあり、加ふ
るに救済提攜の好餌を以て侵略の野望を逞せんとする列強あり、こ
れと歎を通して自己政權擁護に汲々たる官僚あり、南京政府及びこ
れに屬する軍閥國共兩黨の如きは正にその一つにして、自ら墓穴を
掘るの愚を演しつゝあり、彼等は國政を私して私利を計り民福を犠
牲にして單に自己の保全に努め上下滔々腐敗墮落の極に達し、ため
に社稷は累卵の危きに陥れり、然も彼等は時勢を見るの眼識なく自

己陶酔に陥り遂に大日本帝國に對し暴戾なる挑釁を敢てせり、ここ
に於てか大日本帝國は東亞の盟主として蹶然立つて破邪顯正の劍を
揮ひ、暴戾なる軍閥官僚を打倒して民衆の福祉を増進し國共兩黨を
排擯して東洋固有の文化傳統を擁護促進し以て永遠の和平を確立せ
んとして今や將に其の聖業成らんとす、東亞のため亞細亞全民族の
ため欣快これに過くるものなからん、我か蒙疆地帯に於ては既に大
日本軍隊によつて肅清せられ暴戾なる南京政權並に軍閥の桎梏羈絆
を脱し察南晋北蒙古聯盟の各自治政府相次いで成立し積年の秕政革
まつて民利民福を念とする善政を見るに至る、其の理想とするところ
は防共、民族協和、民生の向上にしてその念とするところは東洋
永遠の平和確立に外ならず、而して前記三政府は各地區成立時期を
異にする所謂蒙疆地域として一大ブロックを形成し政治的に經濟的
に分離し難き關係にあり、其の包含する民族については蒙古族あり
漢民族あり、日滿民族あるもこれ皆東亞民族にして離るべからざる

同族關係を有し幾多の重要なる共通事項あること又明瞭なり、従つてこれら共通事項は當然三政府成立の本來の趣旨に鑑み綜合的に統制運営せられざる可らず、然らざれば結局三政府は相互に緊密なる連絡を缺き完全なる民利民福を確保するに難く、かくては三政府設置の意義は減却せらるるに至るへし、

三政府は茲に深く鑑みるところあり、管内七百萬民衆の總意として共に相諮りて本日为期し蒙疆聯合委員會を設立し相互の善隣關係を促進し、各政府協同の目的たる防共、民族協和並に民生向上の實現に向つて邁進するに決定せり、茲に本委員會の成立の趣旨を宣明し、普く内外の協力支持を希望する所以なり

三自治政府代表

0127

一九三三年蒙疆聯合委員會聲明

一三、二、一

多數の精靈と巨額の郵幣を犠牲として我々蒙疆政權確立の基礎を置いた盟邦日本が今又議會に於て蒙疆政權の獨立政權としての發展の爲めに盡力を惜まざるの確乎不動の方針を昭示されたことは、衷心感謝の念に堪へない、東亞の安定勢力としての日本帝國の決意と實踐が東亞民族を覺醒せしめ眞の平和と幸福を招來するものであることは、今次事變によつて明かに證明された。支那政府よりの獨立に就いては、茲に同政權成立に當つては我等が聲明を發した通り毫も新政權の基礎を弱めるものではない。兩政權は寧ろ唇齒輔車の關係の下に提携共助し、蒙疆は蒙疆の特殊性に立脚して獨自の使命に邁進するに過ぎない。今後は日本政府の支援と共に搖きなき基礎を築きつつある支那新政府の協力を得て防共、民族協和、民生向上の實現に努めたい。

0128

86.

蒙疆政權は蒙古聯盟、察南、晋北三自治政府によつて結成されてゐるか、三者は等しく内蒙古にあり、經濟的、國防的關係に於て一體不可分である。唯漢蒙兩民族を包含する點に危懼を抱く向もあるか、之こそ寧ろ蒙疆政權の強みてあり、支那新政府との提携の爲めの楔といはねはならない、三自治政府の堅實な握手の下に將來の發展を期したい。

0129

二〇 防共に関する蒙疆委員會の聲明 一三、二、二三

自國の膨脹を他國の内亂に依存するソ聯の世界赤化政策と、持たざる國家の勃興を阻止せんとする持てる國家の偽購政策とか、國際平和攪亂の禍根である。

世界の耳目を聳動せしめつつある今回の日支事變に就て狂騷支那を踊らしめたる南京政府の裏面を検討する時、將にソ聯の世界赤化政策と持てる國家の偽購政策とか災ひせることを立證することか出来る、然れども人類は正義を愛し、不正を憎む、今や世界は覺醒し之等惡辣偽購の政策を糾弾するに至つた、世界大戰當時ドイツの背後を衝かんとしてフランスによつて企圖せられた中歐同盟の諸國は今や矛を逆にしてソ聯の赤化政策に對抗すべくベルリン、ローマを中樞とする防共協定を結成し排共の烽火を擧げ又最近オーストリアか内政の一大變革と共にドイツと結び防共陣に更に一段の強みを加へるに至り、斯くて全歐洲に警鐘は亂打されソ聯及びこれと氣脈を

0130

通するものに審判を下すの日か来た、この時に當り、東、支那大陸に於ては日支事變を契機として相次いで防共陸隣の自治政權の樹立を見るに至り直ちに歴史的廻轉を思はせるものがある、この轉換期に於て察南、晋北、蒙古聯盟の三自治政權は蒙疆聯合委員會統制の下に愈々結束を固くし、日滿兩帝國の援助協力を得つつ東亞防共戦上の第一線に立ち共產禍に對して華北同胞を擁護すると同時に西方回教徒と協力して同地方に解放と建設の春を甦へらしめつつ歐亞兩大陸を聯繫し世界人類の福祉と世界文以發展に寄與せん事を期待したい。

0131

89

ニ、蒙疆聯合委員會聲明

一三、一二、二七

昨夏日本帝國は容共蔣政權軍閥に對して膺懲の師を起すや、各地の軍閥舊官僚は相次いで登れた。之を好機として我蒙疆地方七百萬民衆の新興更生の意氣澎湃として起り皇軍の絶大なる支援によつて茲に蒙古、察南、晋北三政府の成立を見たのである。我等蒙疆民衆の眞意はアジアの道義に立ち日滿蒙支一體となりて新東亞建設に一路邁進し外は共產主義を絶滅して世界の平和を冀ひ、内は民族協和と民生の向上を圖り以て此の宏遠なる理想の下に蒙疆の建設に努めて居る。今回日本帝國の發表せられた聲明を見るに我等の言はんとする所と表裏一體此の間何等の間隙を見ないのである。正に蒙疆地方に防共の特殊地域が設定せられたことは眞に人類の福祉と世界の平和を意圖するものは何人と雖も異議ない所であらう。我政權は東亞に於ける世界的使命として防共第一線の要路にあり、成立日尙淺しと雖も日夜之が目的達成の爲盡悴し來つたのである。將來永く日

0132

37

本皇軍の絶大なる支援によつて防共の鐵壁を更に堅固にし以て住民の災害を未然に防止すると共に東洋平和の再建設に勇往邁進したい。今や亞細亞の天地には東洋道徳を基調とする劃期的新事態が勃興しつつあるのである。此の新なる亞細亞の更生は今や日本帝國を盟主とする日滿蒙支一體の協同體を創造しつつあり、此の新事態を正確に認識するものなら我等は悦んで相共に手を携へ資源を開拓し相一致協力して人文の向上に資せんとするものである。近衛首相の今回聲明は併せて新事態に對して誤りたる認識に立つ第三國の態度を是正せしむるに充分であらう。新興の意氣に燃立つ我輩疆政權は今次聲明に對して滿腔の敬意を表すると共に、防共亞細亞の新協同體の一員としての重責を遺憾なく果たしたいと思ふのである。

0133

二三、吳佩孚通電

通電一 江天鐸氏以下十六名への返電

十四、一、二六

貫電拜承せり、仁言を拜し憂傷に堪へず。後尙心の慘裂するを覺ゆ、昨年事變勃發以來近畿に銀りてより逐次擴大し遂に全國に及へり、同種の争に天地は共に悲む、山野はその容を改め洪流共に盡き曠古未聞の地獄の慘狀を呈せり、公等は人民の塗炭に心を挫き和平唱導の責をとり余を激勵せらる、これ余の達し得ざりし宿懐と全然一致するものなり、國權を毀損せず財貨を維持し共に人民を救ひ太平を取戻すためには如何なる艱難をも辭せざる所なり、冀くは文化の中心中外の視聽の集りある南支に於て聲氣相通して廣く同志を集め兩國軍民を先づ啓發されんことを、兄弟籟に聞くと計に非ず、東亞の危き鄉鄰相闘ひ黃雀後にしたかふか如きを具さにすべきなり、力を殘して將に來らんとする戰に備へんとせば今や豆箕相煎るを止むべきなり、若し各方面の意見一致するに於ては余は必ず公等の命にこ

0134

92

れ従ひ誠心これに答ふへし

吳佩孚拜

通電二 全國各軍隊、學校宛

余は茲に江字老及ひ諸公に對して左の如き返電を呈するものなり、十七日附電拜承、卿等の宏議を詳細に検討するに弭兵救國を主旨となし復興建設を歸趨となすその遠謀深慮は極めて敬服するところなり、近代國家は政治上の興革如何に拘らすその歴史を忽にするこゝと能はさるものなり、我國は既に五千年の進展を遂げ倫理、思想は四億民族に深く浸透して忽然相容れざる主義を持し來り強いて注入せんとするも只混亂を助長するに過ぎざるのみ、余夙に治兵に當り常に偏紀綱常を持して軍民に諭し、東洋文化を覺知せしめ歷聖相傳へ永久に亡ひざる道德に基き、これに従へば即ち國治り、これを捨てれば國は國の體をなさす必ず亂れることなることを教へ來れるか、これは余の確固不拔の信念にして嚴守變ることなきは夙に天下に明かなる所なり、今や諸公が弭兵を呼號するに當りその災禍の詳細を

0135

93

0136

審かにし、國人は醒悟して正に歸らんことを切に希むものなり、今や軍變は年を越して兄弟の國は相戰ひて熄まず慘澹たる悲憂は東亞の空に瀰漫す、これ中日兩國の共に苦痛とする所にして時を見て戦を止めされば或ひは一時の狂風怒濤か俄かには抵禦し難く決河に至らんことを怖る、即ち中國は元より存立する與はず支那の福社にもあらざることを慮る諸公の衷心は將に同感の至りなり、我等はすべて過去の錯誤を認め共に和平を唱導し漸次戦雲を消滅し共に清疑と單なる毛嫌を除けば我等黃帝の子孫をして秩序を一新せしめ得るは必然なり、渺々たる庶民は更生するに難からず、余は徳なくして其の任に非されとも自ら諸公の後に従つて輿望の爲め微力のあらん限り盡さんと欲するものなり、

謹んで呈す

吳佩孚拜

通電三 上海鄧孝先以下五名宛

94